

第2回養老町食肉基幹市場建設候補地検証委員会 議事録概要

日 時	令和6年11月11日（月） 9時00分～10時30分
場 所	養老町役場 3階第2会議室
内 容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第1回検証委員会の振り返り 2. 答申書の作成に向けて（骨子） <ul style="list-style-type: none"> ・新食肉基幹市場建設が創る養老町の未来 ・新食肉基幹市場建設候補地検討の進め方について確認 ・新食肉基幹市場の候補地要件の確認 ・新食肉基幹市場と住民の協創に向けて 3. 今後のスケジュール 4. その他
出席者	<p>【養老町】</p> <p>産業建設部新食肉基幹市場建設整備対策監 大倉 修</p> <p>産業建設部産業観光課新食肉基幹市場建設推進室長 竹中 修</p> <p>産業建設部産業観光課新食肉基幹市場建設推進室長補佐 杉野 雄士</p> <p>産業建設部産業観光課新食肉基幹市場建設推進室主査 伊藤 寛也</p> <p>産業建設部産業観光課新食肉基幹市場建設推進室主任 渡辺 祐貴</p> <p>【委員等】</p> <p>大阪大学 特任准教授 小出 直史</p> <p>信州大学 副学長 林 靖人</p> <p>九州大学 教授 馬奈木 俊介</p> <p>朝日大学 准教授 中垣 勝臣</p> <p>エヌエス環境株式会社 中村 稔</p> <p>エヌエス環境株式会社 河辺 勇治</p>
会 議 内 容 要 約	
<p>1. 第1回検証委員会の振り返り</p> <p>前回会議内容を要約した資料に対して、検証委員会での検討・審議結果を住民向けに公開・共有するよう提案がされた。</p> <p>2. 答申書の作成に向けて（骨子）</p> <p>①答申書作成の方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・答申書の柱として「新食肉基幹市場建設が創る養老町の未来」という観点から、新食肉基幹市場の政策的位置づけ、経済波及効果、地域への貢献可能性、それを実現するための候補地選定の4項目で骨子を構成する。 ・なお、候補地に関する項については、選定過程等に関する記載だけではなく、食肉基幹 	

市場を地域のために活用する考え方、より良いものにするための住民の皆さんとの協創方法についても提案する答申書とする。

②資料作成・答申書作成にあたって配慮すべき事項

- ・ 昨今、建設費等の上昇が話題になるが、それらを踏まえても新食肉基幹市場の建設は、地域に対して経済効果や雇用創出等が期待できることを補足すること。
- ・ 選定プロセスに関して先行事例等を参照し、住民生活・環境問題に関する影響（有無）について記載すること。
- ・ 候補地の環境改善効果（「ネイチャーポジティブ」）について、新食肉基幹市場の建設後、現状よりも環境を向上させられる可能性があることを記載すること。
- ・ 選定された候補地は、スマート IC や新橋の活用が可能であり、それが域内の交通環境等に与える影響について記載をすること。
- ・ 候補地選定において、橋の建設やスマート IC 等の町を取り巻くインフラ等の環境変化についても時系列で資料に記載すること。
- ・ 候補地選定の要件として、アクセス面での比較要件をより明確に記載すること。アクセス環境が地域にもたらす影響を比較できるようにすること（メリット・デメリット）。

③住民との意見交換・合意形成の具体的方法

- ・ 住民説明会では、特定の人だけとの意見交換にならないよう、多様な住民意見を取り入れるようにするため、ランダムに選ばれた少人数による意見交換会などを実施することも検討いただきたい。
- ・ 将来の地域の担い手となる若い世代など、世代別にも偏りがないように意見収集していただきたい。
- ・ 検証委員会の教授など第三者も意見交換の場に参加し、相互理解を深めるワークショップなどの開催が提案された。

3. 今後のスケジュールと進行

- ・ 今後、答申書の具体案を作成し、12月中旬の第3回検証委員会で案を精査する方針である。その後、最終案を修正し、第4回検証委員会で町長への正式提出を行う予定。

以上